
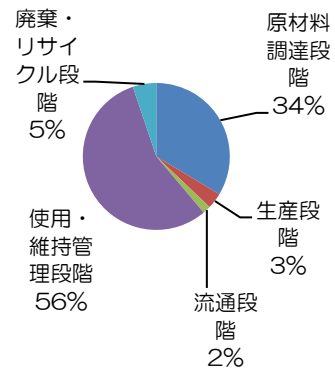


# カーボンフットプリント 登録情報

1. 製品情報			
1.1	登録番号	CR-DG01-13003	<div style="text-align: center;">1.7 製品写真</div>  <p style="font-size: small;">※ 2段カセベデはオプション製品のため対象外</p>
1.2	製品名称（日本語）	モノクロ複合機	
	製品名称（英語）	Monochrome Multifunction Office Systems	
1.3	製品型式	imageRUNNER ADVANCE 4045F	
1.4	製品の主要仕様・諸元	モノクロ 45枚/分、最大用紙サイズ：A3 両面印刷機能付き、FAX機能付き 565mm(幅)×708mm(奥行き)×902mm(高さ) 製品質量：約78kg	
1.5	CFP算定単位	製品1台あたり	
1.6	公開日	2013年1月25日	

2. 事業者情報		
2.1	事業者名（日本語）	キヤノン株式会社
	事業者名（英語）	Canon Inc.
2.2	電話番号	03-3758-2111

3. CFP算定結果およびCFP宣言の内容			
3.1	CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	1400	kg-CO <sub>2</sub> e (端数処理により、左記の値は内訳の合計値と若干異なる場合があります)
3.2	内訳（ライフサイクル段階別、プロセス別、フロー別、等）		
	原材料調達段階	480	kg-CO <sub>2</sub> e
	生産段階	50	kg-CO <sub>2</sub> e
	流通段階	25	kg-CO <sub>2</sub> e
	使用・維持管理段階	800	kg-CO <sub>2</sub> e
	廃棄・リサイクル段階	74	kg-CO <sub>2</sub> e
3.3	数値表示、追加情報の内容		
	数値表示	<記載内容> <b>1,400kg</b>	<数値表示の単位> 製品1台あたり
	追加情報の記載内容	<p>●この数値には用紙の負荷は含まれていません。</p> <p>●複合機(EP方式)の標準シナリオで算定しています。</p> <p>●この製品の仕向け先を全世界とし、地域別比率により算定しました。</p> <p>●想定印刷枚数：119.0万枚</p> <p>●上記標準シナリオにおいて、A4用紙の質量を1枚あたり4.0gとした場合、用紙の負荷は11,000 kg-CO<sub>2</sub>eと算定されます。</p> <p>●上記の想定印刷枚数のうち、50%を2in1印刷することで、200 kg-CO<sub>2</sub>e（CO<sub>2</sub>排出量の約14%）を削減することができます。このとき、用紙の負荷は2,700 kg-CO<sub>2</sub>e削減することができます。</p>	
3.4	備考	<p>想定印刷枚数5万枚以上において、CFP算定結果は次のようになります。</p> <p>CFP算定結果(kg-CO<sub>2</sub>e) = 6.72 E-04 × 印刷枚数(枚) + 6.00 E+02</p>	



4. CFP算定結果の解釈	
4.1	<p>CFP算定結果の解釈</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用・維持管理段階におけるCO<sub>2</sub>排出量が56%と最も多く、製品使用時の省エネ性能が重要な要素だと言えます。使用・維持管理段階は標準的な使用条件を設定して評価したため、お客様の利用条件と同じでない場合があります。印刷モードや印刷条件、枚数などの使用条件により製品使用時のCO<sub>2</sub>排出量を削減できる可能性があります。例えば、今回の使用条件に対して、印刷枚数の50%を2in1印刷すると、200 kg-CO<sub>2</sub>e（ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の約14%）を削減することができます。</li> <li>・原材料調達段階における温室効果ガス排出量が34%と使用・維持管理段階の次に大きくなりました。製品の小型軽量化も重要な要素だと言えます。CFP算定にあたり、原料使用量は当社データを利用していますが、数千点におよぶ部品のデータを収集することは非常に困難なため、原料製造時のデータは一般的な値を利用しています。そのため、当製品固有の特徴を反映していない場合があります。</li> </ul> <p>上記の理由より、この結果は概算値としてご理解ください。</p>

5. 算定条件					
5.1	認定CFP-PCR名称	画像入出力機器	5	認定CFP-PCR番号	PA-DG-01
5.3	利用した二次データの考え方	基本データベースv.1.01を優先的に利用しました。基本データベースv.1.01に原単位がないものは、利用可能データv.1.01のうち信頼性が高いと判断したものを利用しました。			

6. 検証情報					
6.1	検証方式	個品別検証方式	6	システム認証番号	-
6.3	検証番号	CV-DG01-13003	6	検証有効期限	2016年1月23日

7	備考	(事務局使用欄)
---	----	----------

(※) 二次データについては、CFPウェブサイト下記ページ参照のこと。  
<http://www.cfp-japan.jp/calculate/verify/data.html>